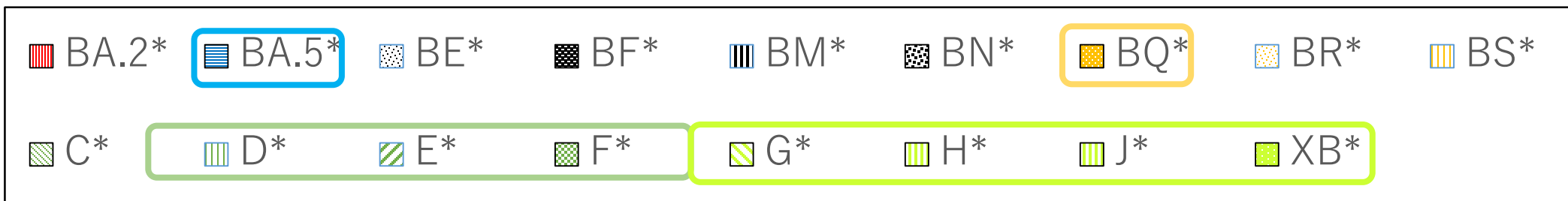
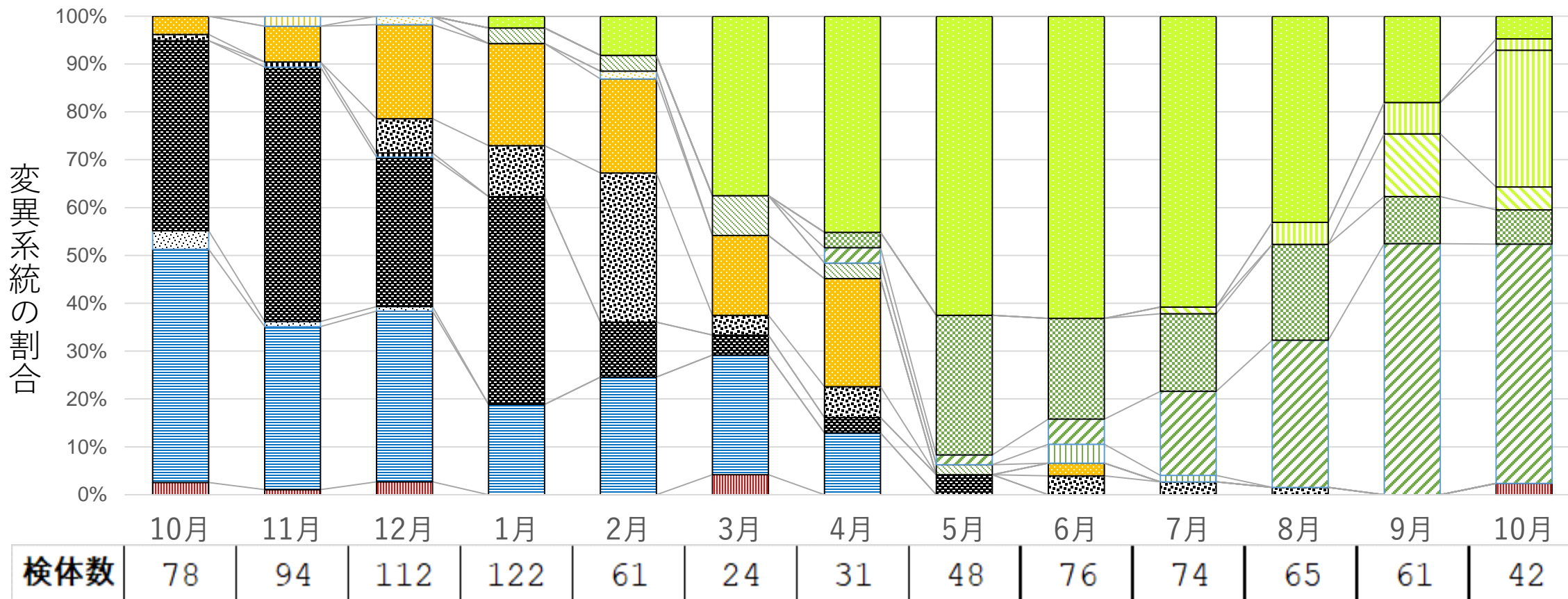


神奈川県 衛生研究所

SARS-CoV-2ゲノム解析モニタリングの結果
(2022年7月～2023年10月 (暫定) まで)

神奈川県衛生研究所SARS-CoV-2ゲノム解析モニタリングの結果

(2022.10~2023.10) 検体数 888



*については後述

神奈川県域で検出された変異系統(2022.7~2023.10)と、本解析における略称対応一覧

BA.2*	BA.2	BE*	BE.1	BQ*	BQ.1	F*	FK.1.1	XB*	XBB.1
	BA.2.10		BE.1.1		BQ.1.1		FK.1.2.1		XBB.1.11.1
	BA.2.12.1		BE.1.1.2		BQ.1.1.18		FK.1.3.2		XBB.1.15
	BA.2.18		BF.1		BQ.1.1.4		FL.1.5.2		XBB.1.16
	BA.2.24		BF.10		BQ.1.1.45		FL.10		XBB.1.16.1
	BA.2.3.		BF.11		BQ.1.2		FL.10.1		XBB.1.16.11
	BA.2.3.20		BF.11.5		BQ.1.22		FL.14		XBB.1.16.2
	BA.2.75		BF.13		BQ.1.24		FL.2		XBB.1.16.20
	BA.2.75.5		BF.14		BQ.1.25		FL.20.1		XBB.1.16.23
	BA.2.86.1		BF.2		BQ.1.28		FL.24		XBB.1.16.4
BA.5*	BA.5	BF*	BF.21	BR*	BR.2	FL.3.1	XBB.1.16.7		
	BA.5.1		BF.25		BR.3	FL.4	XBB.1.22		
	BA.5.1.1		BF.26		BS*	BS.1.1	FL.5	XBB.1.22.1	
	BA.5.1.2		BF.5	CH.1.1		FU.1	XBB.1.24.3		
	BA.5.1.3		BF.5.1	CH.1.1.1		FU.2	XBB.1.42.2		
	BA.5.1.5		BF.7	CH.1.1.1	FY.1	XBB.1.5			
	BA.5.2		BF.7.14	CH.1.1.3	FY.1.1	XBB.1.5.1			
	BA.5.2.1		BF.7.15	CJ.1.3	FY.1.2	XBB.1.5.10			
	BA.5.2.12		BF.7.4.1	CM.8	FY.2	XBB.1.5.12			
	BA.5.2.18		BF.7.5	CM.8.1	FY.3	XBB.1.5.41			
	BA.5.2.20	BM.1.1	CQ.2	FY.5	XBB.1.5.42				
	BA.5.2.21	BM.4.1.1	CR.1.3	FY.6	XBB.1.5.5				
	BA.5.2.28	BN.1	DV.6	GJ.1.1	XBB.1.5.94				
	BA.5.2.3	BN.1.1	D*	GK.1.1	XBB.1.9				
	BA.5.2.35	BN.1.2		G*	GY.5	XBB.1.9.1			
	BA.5.2.43	BN.1.3			GY.8	XBB.1.9.2			
	BA.5.2.6	BN.1.3.13	H*		HF.1	XBB.2			
	BA.5.2.9	BN.1.3.2		HK.3	XBB.2.3				
	BA.5.3.	BN.1.5		HU.1.1	XBB.2.3.11				
	BA.5.3.1	BN.1.9	E*	HV.1	XBB.2.3.2				
	BA.5.5	J*		JJ.1	XBB.2.3.3				
	BA.5.5.1			EG.5.1.2	XBB.2.3.6				
	BA.5.6			EG.5.1.3	XBB.2.3.8				
				EG.5.1.4	XBC.1				
	EG.5.1.8			XBJ					
	EG.5.2		XBK						

赤字は最近1か月で出現した新規系統

- 2023年10月までに県域で165種の変異系統が検出された。すべてオミクロン株である。
- 昨秋はBA.5系統(青)およびBF, BN系統(黒)が多数を占める中、BQ*系統(橙)が10月下旬から出現し、第8波(昨秋ー冬)において県域全体の2割前後を占めたが、観察期間を通じて優占種となることはなかった。
- 組換え系統であるXB*系統(黄緑)は今年1月から検出され、5月以来5割を超える占有率を示したが、最近は減少傾向にある。
- 代わって4月から出現し、9月には約6割を占めている様々なE*およびF*系統(緑)もXB*系統の子孫にあたるため、5月以降はほとんどの検体がXB*系統の系譜で占有された状態となっている。
- 8月にWHOがVOI(注視変異系統)に指定したEG.5及びその亜系統(含HK系統)“Eris”が、10月には6割超を占め、拡大傾向が続いている。
- 8月にWHOがVUM(監視変異系統)に指定したBA.2.86系統“Pirola”が、本モニタリングでは10月に初めて確認された。

※データの累積度平準化を目的として、掲載範囲を約1年間とさせていただいております。過去データについては旧資料をご参照ください。